

## 初めての畑

一宮南部小・4 高柳 奏良

わたしの家には畑があります。お父さんのおばあちゃん畑です。昔は、農業で使っていました。しかし、ひいおばあちゃんは、わたしが生まれてすぐになくなってしまい、畑はその時のままになってしまっていました。

そのような中、今年の夏にお母さんが、

「畑で何か作りたいものはあるかい。」

と、聞いてきました。わたしと妹はいろいろ考え、

「トマト、きゅうり、とうもろこし、さつまいもがいい。」

と、答えました。

その他にも、ゴーヤやかぼちゃ、モロヘイヤ、なす、くうしん菜、オクラ、じゃがいも、ピーマンをゴールデンウィークに植えました。

中には、わたしが食べたことのない野菜や、苦手なものもありました。

まず、みんなで種やなえを買いに行きました。元気がよさそうななえをわたしが選びました。

おじいちゃんは、畑のじゅんぴをしてくれました。草いっぱいの畑は草かりをし、トラクターをかけ、その後うねを作り、マルチをかけます。マルチは、草を生えにくくし、土の温度を上げ、成長をよくするそうです。

じゅんぴができたので、妹といっしょに種やなえを植えました。

五月は、草を取り、水をやり、ひりょうをまきました。

六月になり、雨がたくさんふつたので、畑に行けない日もありました。ひさしぶりに畑に行くと、野菜たちはとても大きくなりました。しかし、草もすぐ大きくなくなっていました。

なすは大きくなってきたので、しちゅうにしぼってたおれないようにしました。また、きゅうりやゴーヤは、ネットをしいてつるがまいていくようにしました。

トマトとピーマンは、わき芽をつみました。

わき芽をつむことは学校で習ったので、つんでいるとお母さんが、「よく知っているね。」

と、びっくりしていました。わき芽をとることは、わたしの仕事になりました。

雨がずっと、かぼちゃときゅうりが病気になるました。葉が白くなりました。調べてみると、うどん粉病という病気でした。お母さんと薬を買いに行き、買った薬をまきました。

しばらくすると、きれいな葉が育ち、安心しました。

七月、とうもろこしは、わたしのせより大きくなりました。実をつけ、ひげもいっぱいです。他の野菜もしゅうかくできるようにになりました。

なすは、ぴかぴかのつるつる、まん丸でとてもきれいに育ちました。きゅうりは、とげとげで、月みたいな形もありました。トマトは、すっぱいものやあまいものがあり、当たりやはずれを言いながら食べるのが楽しかったです。苦手なゴーヤはやっぱり苦くて、ちよっぱりいやでした。初めて食べたくうしん菜は、シャキシャキでおいしかったです。

お母さんが他にもいろいろな料理を作ってくれました。中でも、わたしの好きな料理は、かぼちゃのシチューとコーンバターです。なすの肉みそがけも大好きです。

野菜はすぐたくさんとれたので、友達にあげたり、あまりを冷とう庫に入れたりしました。わたしも包丁を使って、ゴーヤやオクラを切り、ふくろに入れてこおらせました。

八月になり、とても暑い日が多くなってきました。なかなか畑に行けないときもあつたけれど、朝早くにお母さんが連れて行つてくれることもありました。朝はすずしいけれど、ハチがたくさんいました。わたしとお母さんは、にげながらがんばってしゅうかくを進めました。

「こわかったね。」

と、二人で笑いながら畑から帰りました。

おぼんになり、畑でとれたいちばん大きななすときゅうりで牛と馬を作りました。とつても乗り心地がよさそうで、ひいおばあちゃんがかうれしそうに乗って来てくれる気がしました。

わたしは畑が好きになりました。畑は、いろいろ大変なこともあるけれど、おいしくて新せんな野菜がとれるし、楽しいこといっぱいあると分かったからです。ひいおばあちゃんが残してくれた畑を、これからも大切にしていきたいと思っています。そして、これからも、もつといろいろな野菜作りにちよう戦してみたいなと思っています。